

番号	氏名	抱負
231	星野 充英	
232	法橋 一生	
233	堀田 賢治	日本放射線技術学会の学会レベルの向上、診療放射線技師としての学力や技術の向上、そして学会運営に地方の意見が少しでも取り入れられるよう、微力ながら貢献したいと思ひ立候補しました。よろしくお願ひいたします。
234	本田 貢	代議員として、本学会の目的である「放射線技術学に関する研究発表、知識の交換ならびに関連団体との連絡提携を図り、学術の進歩発展に寄与する」に対しこれまでの経験を活かし協力いたします。また、総会に出席し議題の審議・議決に参画し、学会全体の状況を会員に広めること、ならびに、会員の要望や意見などを収集し学会の運営に反映できる様に貢献したいと思ひます。
235	本間 龍夫	私はJSRTの会員ですが、またJIRA(一般社団法人日本画像医療システム工業会)の会員でもありますので、両会員に役立つような活動を行います。それにより、放射線技術の発展に寄与するようにしたいと思ひます。
236	前田 幸一	私は、防護用具メーカーの立場から学会に対しての活動をいたしたいと思っております。また、業界と学会との橋渡しのお役に立ちたいと思ひます。
237	前田 賢	現期間に引き続き、JSRTとJIRAの架け橋役として、年2回発行のJIRAテクニカルレポートの編集担当、秋季大会のJIRA発表会運営担当として頑張る所存です。
238	前田 幸人	診療放射線技師として17年間、臨床の場で働いてきました。臨床での経験を生かし、放射線技術のさらなる向上のため日本放射線技術学会の活動に協力させていただきたいと思ひます。医療現場の目線から政策や事業案を提案するとともに研究の推進を行い、社会貢献いたします。
239	松浦 由佳	日本放射線技術学会の発展的継続に向けて、第一に、国外における勤務経験を活かし、学会及び会員の国際化(欧米化や世界進出等ではない、真の国際化)に向けた活動。第二に、比較的若い頃から学会活動に従事させて頂いてきた経験から、良き伝統を活かしつつ、若年層の感覚や意見を新たに取り入れることで、幅広い層から共感される学会へと発展させる活動という、二点を重視した活動に邁進したいと考える。
240	松浦 幸広	中部支部長として微力ながら学会運営に貢献させていただいております。今後も、医療情勢の改革の時に対応できる学会運営および発展に寄与したいと思ひます。